

主催：仙台弁護士会 共催：東北弁護士会連合会 後援：日本弁護士連合会

法曹人口問題シンポジウム

～あるべき法曹人口と弁護士の将来～



2016 年度から 2025 年度までの司法試験の合格者数は、出願者数及び受験者数の減少傾向が続いているにもかかわらず、年間 1,500 人前後か、それ以上の人数を維持してきました。日弁連のシミュレーションによると、司法試験合格者数を年間 1500 人と仮定した場合、弁護士人口は 2050 年頃にピークを迎え、約 6 万 3000 人に達すると予測されています。他方、我が国の総人口は、2004 年の 12,784 万人をピークに、急激に減少し、2050 年には 9,515 万人と

なり、約 3,300 万人(約 25.5%)も減少することになります。

そのような状況において、弁護士が過剰となって、過当競争となり、様々な弊害が招来されるのではないのか。社会が必要とする弁護士は足りているのか。東京一極集中となり、地方の弁護士会が衰退するのではないのか。弁護士は、今後とも、基本的人権の擁護と社会正義の実現という弁護士の基本的使命を全うすることができるのか。弁護士という職業の将来はどうなるのか。あるべき法曹人口とはどのようなものか。弁護士の間でも、さまざまな意見があります。今回のシンポでは、法曹人口問題についての代表的論者をお招きして、あるべき法曹人口と弁護士の将来について考察を深めていきます。

ーパネリストー

弁護士 久保利英明（第二東京弁護士会）元日弁連副会長

弁護士 松本 篤 周（愛知県弁護士会）元日弁連人権擁護委員会委員長

コーディネーター 森田新司、光島悠平（仙台弁護士会）

2026 年 1 月 30 日(金) 17:30～19:30

仙台弁護士会館 4 階大会議室 ※Zoom によるオンライン併用

オンライン参加の方は下記 URL か QR コードからご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/85233852567>

お問い合わせ先 仙台弁護士会
仙台市青葉区一番町 2 丁目 9 番 1 8 号
電話 022-223-1001

